

希望の舞台へ。



石上和弘《アフターアップル》2017 第27回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)での展示風景 撮影:山本陽介

めぐりアート静岡 2020

10/20(火) - 11/8(日) 観覧無料

*ヒロバのみ 10/17(土)~

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

石上和弘 岩野勝人 千葉広一 日詰明男 福井揚

占部史人 (9/19(土)-10/11(日))

*上記会期中の金土日及び祝日開催

きむらとしろうじんじん (9/27(日)のみ)

アオキ裕キ (10/31(土)・11/1(日))

静岡県立美術館 静岡市美術館

臼井良平

ワタリドリ計画

<https://megururi.net>   

主催:静岡県立美術館、静岡市美術館、静岡市

運営・問合せ:公益財団法人静岡市文化振興財団 (054-255-4746) (平日8:30~17:30)

 SHIZUOKA

 文化庁
令和2年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

ON
STAGE
SHIZUOKA
まちは劇場

「めぐりアート静岡」は、静岡市内のさまざまな場所を会場に、今を生きるアートを紹介する展覧会です。大学、美術館、市民、行政などによる地域連携の美術展として2013年に始まり8回目を迎えました。2016年度から静岡市が主催者に加わるとともに、JR東静岡駅北口前の市有地、アート&スポーツ／ヒロバを暫定5年間の会場とし、身近な場所で規格外のスケール感、あるいは想像力あふれる作品と出会う機会を提供してきました。本年はその5年目、いよいよ最終年となります。

それに向け準備を開始した3月末から5月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大によって展覧会は開催が見通せない状態になり、いくつかの関連事業も中止せざるをえませんでした。そしてその後の推移のなかで、ヒロバはもとより市内2つの美術館も、様々な対策を講じ、来場者をお迎えできることになりました。

今、私たちはあらためて、人と人との出会いと触れあいの大切さをかみしめています。また、サイトカインストーム(免疫システムの暴走)が身体にとって危険なように、他者への過剰な警戒が、心や社会をむしばみかねないという危険性にも少しずつ気づきはじめています。アーティストは、コロナ禍にあつてなお、心の底からわき上がるさまざまな感情、そして彼・彼女にとって最も大切なこと・興味のあることをカタチにしようとしています。

「めぐりアート静岡 2020」は、この地域との関わりを大切にアーティストとともに、アートプロジェクトというもう一つの日常／非日常、そしてポストコロナに向けた希望の舞台を用意します。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土) - 11/8(日)

いしがみかずひろ

石上和弘

彫刻家 / 静岡市在住



アーティストトーク 10/24(土) 14:00~14:40

1966 静岡県静岡市生まれ
1991 武蔵野美術大学彫刻学科卒業

主な作家活動

- 2013 「あいちトリエンナーレ2013キッズトリエンナーレ」でワークショップ[私の心が雲に乗る](愛知)
- 2015 「めぐりアート静岡」静岡県立美術館
「神戸ビエンナーレ アートインコンテナ国際展」準大賞受賞(兵庫)
(2009,2011年も出品)
- 2017 「第27回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」島根県吉賀町賞、市民賞受賞(山口)
- 2018 「めぐりアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
- 2020 「めぐりアート静岡+」グランシップ(静岡)



《道の作り方》(「めぐりアート静岡2018」)

石上和弘は、おもに木を素材に堅実かつ親しみやすい彫刻を作る。今展は3点の出展予定である。2017年、第27回UBEビエンナーレ(山口県宇布市)で市民賞ほかを受賞した《アフター・アップル》。2018年の本展出品作《道の作り方》に少し手を加えたもの。そして芭蕉の皮をモチーフとした新作である。迫力ある3点が並び立ち、人々がその間を散策するとき、広い芝生広場がどのような景色に変貌するのか、刮目して待ちたい。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土) - 11/8(日)

ワークショップ 10/17(土)

※詳細は裏面の関連イベントをご覧ください

いわのまさひと

岩野勝人

彫刻家 / 京都府在住



アーティストトーク 10/17(土) 13:00~13:30

1961 徳島県三好郡三加茂町(現、東みよし町)生まれ
1988 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻卒業
1990 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

主な作家活動

- 2008 「IWANO MASAHITO 現代アートによる徳島再見」徳島県立近代美術館(徳島)
- 2012 「隠岐おさい芸術祭2012」島根県隠岐郡西ノ島(島根)
- 2014 「Erosion/Transfiguration-侵蝕と変容の先の関係性へ-」瑞雲庵(京都)
- 2016.1 「めぐりアート静岡」静岡市美術館(静岡)
- 2016.10 「めぐりアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
(以降、'17、'18、'19年も参加)



ワークショップ「色とカタチと空間、そして光」(「めぐりアート静岡2019」)

2016年にスタートした彫刻家・岩野勝人による「コンテナ・アートベース」プロジェクトも足掛け5年、今年度で当初の期間を終了する。これまで、「アートの秘密基地」には人型の座れる真っ赤な彫刻「メンタル・チェア」をはじめ、等身大の「キリン」や「ゴリラ」、「青い人」が次々と登場してきた。今年は、昨年開催したワークショップ「くもならべ」がパワーアップ。みんなが描いた雲を、作家が大きく立体的な「雲の群れ」にして、アートベース前のヒロバに設置する。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)～11/8(日)

ちばこういち

千葉 広一

アーティスト / 静岡市在住



アーティストトーク 11/7(土) 17:00～17:30

1967 埼玉県浦和市(現さいたま市)生まれ
1992 東京芸術大学美術学部絵画油画専攻卒業

主な作家活動

- 2012 個展「いつか・どこか・きっと」ギャラリーsensenci(静岡)
- 2012 「MAX A5 2012」KONTORS Galleri(デンマーク)
- 2013 「写真新世紀2013」佳作 東京都写真美術館(東京)
- 2014～2016 静岡新聞日曜版に詩人平田俊子のエッセイ挿画として作品連載(全88回)
- 2016 「めぐりアート静岡」旧マッケンジー住宅、東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
- 2017～2019 「めぐりアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)



《Instagramの画像から》2012～2020

軽やかなもの、こわれやすいもの、傷つきやすいもの、身近なもの、さりげないもの、…。千葉の作品は、誰もが秘める心のゆらぎを映しだす。思春期、孤独、不安、眠り、家族、別れ、旅立ち、…。映像で、それもネット環境のライトな感覚で、季節、花、草、日の光、夜の光、風、海、水、雨、雪を見つめる。ヒロバの車掌車で、そしてInstagramで。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)～11/8(日)

ひづめあきお

日詰 明男

アーティスト / 川根本町在住



公開制作 10/18(日)、10/19(月) 10:00～16:00

アーティストトーク 11/1(日) 13:00～13:40

1960 長野県長野市生まれ
1987 京都工芸繊維大学建築学科卒業

主な作家活動

- 1994 「眼の宇宙ーかたちをめぐる冒険」兵庫県立近代美術館(兵庫)
- 2006 「美術館ワンダーランド 夏の思い出 今を生きる」安曇野市豊科近代美術館(長野)
- 2008 個展「星ボックリ茶寮」京都芸術センター(京都)
- 2010 「黄金比のカタチ」静岡市美術館(静岡)
- 2016 「めぐりアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
- 2017 「Quasi-Crystal Sculpture」JAPAN HOUSE(サンパウロ)
- 2018 「Fibonacci Tunnel」CAFAM(ロサンゼルス)



《竹の星籠》バンブーストック・フェスティバル(「めぐりアート静岡2016」) 撮影:石川綾子

日詰明男は、大学で建築を学んだ後、30年来、自然界の様々な形の中にあらわれる不思議な比率、黄金比に基づくフラクタル構造を造形や音楽で表現する仕事を続けている。2016年、「めぐりアート静岡」ヒロバ会場で「黄金比の実験都市in東静岡」を発表、「バンブーストック・フェスティバル」を開催した。今回は、巨大な竹の星籠「Giant Bamboo Star Cage」をヒロバで制作する予定。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)～11/8(日)

ふくいよう

福井 揚

アーティスト / 裾野市在住



アーティストトーク 10/24(土) 13:00～13:40

1978 滋賀県東近江市生まれ
2005 カンザスシティー・アートインスティテュート陶芸学科卒業
2008 ネバダ州立ラスベガス大学彫刻学科 大学院修了

主な作家活動

- 2009 個展「Future Imperfect」David Salow Gallery(ロサンゼルス)
- 2012 「Defeat the Future」展、Contemporary Arts Collective(ラスベガス)
- 2017 個展「Hey Yo!」RYU Gallery(富士宮市)
- 2018 個展「I Know You, You Know Me」かわらミュージアム(近江八幡市)
- 2018 個展「Death is Not the End」ボタニカ・アートスペース(静岡市)
- 2019 個展「直観天国」ギャラリーNEW新九郎(小田原市)



《thing》2018 撮影:鏡谷均

福井揚はポップな彫刻陶芸と、極彩色のフェルト片で蔽われた名状しがたい「モノ」を創る。その「非実用的で馬鹿げた」行為によって、時代の閉塞や文化状況に風穴を明け、心の底深く眠る野性を目覚めさせる。彼の作品は技法も様式も多様で、意味も意図も捉えがたい。来場者は、福井のきらびやかな謎の前にたたずみ、作品の生命、その不思議なざわめきを感じるようになるだろう。

静岡県立美術館 10/20(火)–11/8(日)

うすいりょうへい

白井良平

美術作家 / 東京都在住



アーティストトーク 10/20(火) 15:30~16:10

1983 静岡県藤枝市生まれ

主な作家活動

- 2016 個展「Objects on a table」UTRECHT(東京)
- 2017 「驚異の超絶技巧！明治工芸から現代アートへ」
~19 三井記念美術館(東京)、岐阜県現代陶芸美術館(岐阜)、山口県立美術館(山口)、
富山県水墨美術館(富山)、あへのハルカス美術館(大阪)
- 2019 「三旅人茶会」根津美術館庭園内 斑鳩庵・清溪亭(東京)
「小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ」岐阜県現代陶芸美術館(岐阜)
- 2020 個展「Solid, State, Survivor」無人島プロダクション(東京)



《Soap》2020 (インスタレーション「shore」より)

ガラスを用いて製作したペットボトル等のプラスチック容器を中心に、写真、自然物、既製品など多様なメディアを交えた展示、インスタレーションを展開している。本展覧会では現在の社会状況や静岡の土地柄を反映させたモチーフに、今を生きる等身大の生活者の姿を重ね合わせたインスタレーションを試みる。

静岡市美術館 10/20(火)–11/8(日)

ワタリドリ計画

あそうともこ たけうちあきこ
(麻生知子・武内明子)



アーティストトーク 10/20(火) 13:00~13:40

麻生知子 / 画家

- 1982 埼玉県生まれ / 現在、神奈川県在住
- 2009 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業

武内明子 / 画家

- 1983 熊本県生まれ / 現在、熊本県在住
- 2008 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業

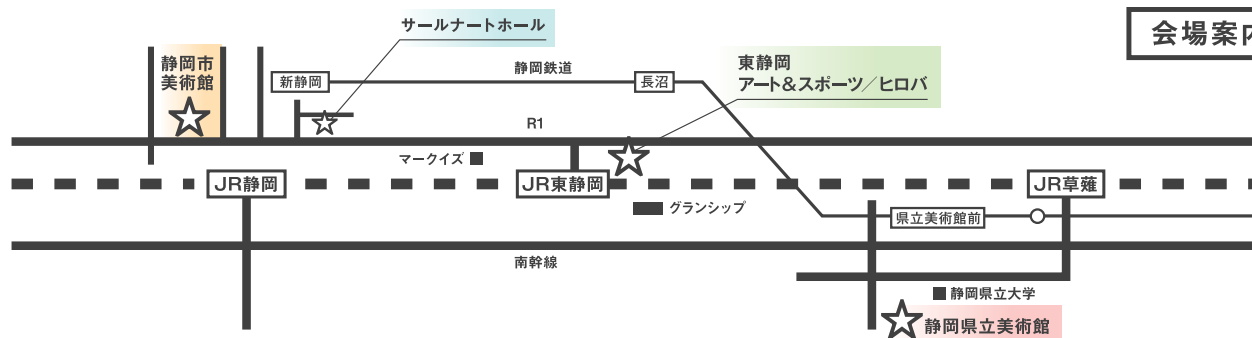
主な活動

- 2009 春、麻生知子と武内明子によりスタート
- 2009 ワタリドリ計画 第1回札幌展「北海道」札幌市資料館ギャラリー(北海道)
ワタリドリ計画 第5回静岡展「富士山がない」(「THE LIBRARY」「この場所」展)
／静岡アートギャラリー(静岡)
- 2012 「VOCA展2012」上野の森美術館(東京)
- 2017 ワタリドリ計画 第17回二本松展「ワタリドリ安達太良物産」
／安達太良物産及び道の駅「安達」智恵子の里(下り線)(福島)
- 2018 ワタリドリ計画「結成10周年展」(第21回TARO賞展)／川崎市岡本太郎美術館(神奈川)
- 2020 ワタリドリ計画「絵から旅する大原岡山」(AM倉敷 vol.16)／大原美術館(岡山)



《ワタリドリ計画旅の手彩色絵葉書：青葉おでん街》2009

渡り鳥が暖かい場所と餌を求めて飛んでいくように、麻生知子と武内明子が展示場所と作品の題材を求めて日本全国を飛んでいく、アートプロジェクト「ワタリドリ計画」。2009年5月、第1回札幌展を皮切りに、同年10月には、静岡アートギャラリー最後の展覧会に「飛来」した。それから11年、10周年を迎えた静岡市美術館にふたたびやってくる！



会場案内

静岡市美術館

〒420-0852
静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
Tel:054-273-1515
開館時間:10:00-19:00
休館日:月曜日
JR静岡駅北口より徒歩3分

東静岡 アート&スポーツ/ヒロバ

イベントに関する問合せ
公益財団法人静岡市文化振興財団
Tel:054-255-4746(平日8:30-17:30)
コンテナギャラリー 開館時間:11:00-18:00
車掌車ギャラリー 開館時間:11:00-19:30
休館日:月曜日
JR東静岡駅北口すぐ、静鉄長沼駅から徒歩約4分 ※駐車場あり(有料)

静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
Tel:054-263-5755
開館時間:10:00-17:30
休館日:月曜日
JR草薙駅から静鉄バス県立美術館行きで約6分
静鉄県立美術館前駅から徒歩約15分、
または静鉄バスで3分 ※駐車場あり

プレ
展示

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 9/19(土)ー10/11(日)

※詳細は裏面の関連イベントをご覧ください

上記会期中の金土日及び祝日開催

うらべふみと

占部史人

アーティスト / 静岡市在住



アーティストトーク 9/27(日) 14:00~14:40

- 1984 愛知県西尾市生まれ
- 2008 愛知県立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻卒業
- 2010 愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻領域修士
- 2013 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期過程修了

主な作家活動

- 2013 「シャルジャ・ピエンナーレ 11」シャルジャ(アラブ首長国連邦)
- 2014 個展「7つの夜の海」愛知県美術館 (APMoA Project ARCH) (名古屋)
- 2016 個展「蜜の流れる大地」GALLERY SIDE2(東京)
- 2018 「水と土の芸術祭 2018」(新潟)
- 2020 「Artist Award In the Cube 2020」岐阜県美術館・図書館(岐阜)



《ソローの小屋》2020

占部史人は大学で彫刻を学んだが、絵画的表現も含め、これまで場をつくるような作品を多く発表してきた。「めぐるりアート静岡」では、今年5月から、自身が教える静岡大学教育学部の絵画ゼミ学生有志とともに、コンテナ・アートベースの外壁に壁画を描くプロジェクトを展開。9月には、壁画の完成とともに、アートベース内のギャラリーも使って展覧会を開催する。

のたて
野点

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 9/27(日)のみ ※詳細は裏面の関連イベントをご覧ください

きむらとしろう じんじん

陶芸家・美術家 / 京都市在住



- 1967 新潟県新潟市生まれ
- 1994 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻修了

1993年より京都でHIV/AIDSに関するNGO活動、インディペンデントのアート&コミュニティーセンターの運営やカフェの立ち上げなどに関わる。その最中の1995年、その場で絵付けをして楽焼きという方法で焼き上げられた自作のお茶碗で、その土地の、その日そのときの風景の中でお茶を楽しめる陶芸お抹茶屋台「野点」をスタート、以来350を越える様々な土地の様々な場所で実施、現在も絶賛続行中!!



野点「めぐるりアート静岡2019」

きむらとしろうじんじんは、抹茶と陶芸窯のセットを携えた独自のスタイルで、四半世紀にわたり全国を巡って野点を開催してきた。昨年、「めぐるりアート静岡」の新しい展開としてじんじんを招聘し、まちの中心部にある小梳神社(静岡市葵区)において、初めて静岡で野点が開催された。今年は展示会場の一つであるヒロバで実施する。今年はどうのような「風景」が生まれるのか、目撃していただきたい。

ドキュメンタリー映画

サールナートホール 10/18(日)

※詳細は裏面の
関連イベントをご覧ください

パフォーマンスアーツ

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/31(土)・11/1(日)

あおきゆうき

アオキ裕キ

振付家 / 東京都在住



アーティストトーク 11/1(日) 午前午後、公演終了後

タレントのバックダンサー業などを経て「日々生きることに向き合わざるを得ない体」を求め、2005年より路上生活経験者を集めたダンスグループ「新人Hソケリッサ!」を開始。個人しが生み出せない体の記憶を形成した踊り、その作品は定評を得る。2004年、NEXTREAM21最優秀賞受賞、コニカミノルタソーシャルデザインアワード2016グランプリ受賞。

<新人Hソケリッサ!>

ダンスグループ。振付家アオキ裕キが「生きることに日々向き合う身体」を求め路上生活経験者を持つ参加者を集めた活動。2005年よりメンバーを募り、第一回公演「新人Hソケリッサ!」を2007年に行う。近年では2017年から2018年、東京近郊の屋外全13カ所においてパフォーマンス「日々荒野」ツアーを開催。ブラジル、リオ五輪プログラム、セレブラ「With one voice」等参加。コニカミノルタソーシャルデザインアワード2016、グランプリ受賞。

・新人Hソケリッサ! HP <https://sokerissa.net/>



新人Hソケリッサ!

アオキ裕キにとってダンスとは、まさに生きる身体そのものとの会話だろう。ショウビズの世界で活躍しながらも価値観を一変させる出来事に遭遇し、人が踊るということの意味を再考せざるを得なくなったという。長い間の自問自答の末に出会ったのが、路上生活者の身体だ。ダンサーと対極にあるその個性に、アオキはダンスの可能性を見たのである。彼らとともに生成する身体表現の現在形が、「めぐるり」のヒロバにやってくる。

占部史人with静岡大学絵画ゼミ学生有志による壁画プロジェクト
「『箱の生活』“Life in the Boxes”」

占部史人が、今年5月から、自身が教える静岡大学教育学部の絵画ゼミ学生有志とともに、コンテナ・アートベースの外壁に壁画を描くプロジェクトを展開。9月には、壁画の完成とともに、アートベース内のギャラリーも使って展示会を開催します。



会場：東静岡アート&スポーツ／ヒロバ
コンテナ・アートベース内ギャラリー及び外壁
期間：9/19(土)～10/11(日) 11:00～17:00
※会期中の金土日及び祝日開催

アオキ裕キ ドキュメンタリー映画
the dancing Homeless(ダンシングホームレス)

どん底を経験したホームレスによる“生きる舞”。アオキ裕キ率いる路上生活経験者のダンス集団“新人Hソケリッサ!”の姿を追ったダンス・ドキュメンタリー映画。



会場：サールナートホール(フルキャバ245席)
日時：10/18(日) 13:00～
※上映後、アオキ裕キさんのトークあり
料金：前売一律1,000円 当日一律1,500円(各税込)
定員：限定120名 自由席

岩野勝人 ワークショップ
平面から立体へ「くもならべ」part2

昨年開催した「くもならべ」がパワーアップして戻ってきます。みんなが描いた雲を、岩野さんが大きく立体的な“雲の群れ”にして、アートベース前のヒロバに設置します。



会場：東静岡アート&スポーツ／ヒロバ コンテナ・アートベース周辺
日時：10月17日(土) 13:00～16:00
講師：岩野勝人(彫刻家)対象：子どもから大人まで(小さなお子さんは保護者同伴)
定員：20名 参加費：無料(汚れてもよい服装でお越しください)※小雨実施
申込：電話で(公財)静岡市文化振興財団(054-255-4746)(平日8:30～17:30)(申込順)
申込開始日時：9月16日(水)9:00～

の だ て
きむらとしろうじんじん 野点

美術家・陶芸家のきむらとしろうじんじんによる野点では、大小2台のリヤカーに陶芸窯などを積み、お茶碗を焼ける移動式のカフェを開きます。いつもと違う静岡の風景の中で、お茶碗の絵付けやじんじんさんとのお話を楽しんでみませんか。見物だけでも大歓迎!



会場：東静岡アート&スポーツ／ヒロバ
日時：9/27(日) 12:00頃～日暮れ頃 ※雨天決行
参加費：お茶碗絵付け 2,000円 申込：不要(当日会場へ)
問合せ：静岡県立美術館 担当 植松(054-263-5857)
当日連絡先 050-5361-6257 ※当日のみ

アオキ裕キ ダンスグループ
新人Hソケリッサ! 「日々荒野」

公園や路上などで行う野外ダンスパフォーマンス。人間の持つ純粋な躍動(生きる力)を表現する。



振付：アオキ裕キ、出演：新人Hソケリッサ!
会場：東静岡アート&スポーツ／ヒロバ
参加費：無料 申込：不要(当日会場へ)
日時：10/31(土) 17:00～
11/1(日) 11:00～ 14:00～

写真展
長船恒利、杉村孝の「石庭」を撮る。

地域に根ざした同時代のアートに深い関心を寄せた写真家、故長船恒利が、石彫家として独自の道を切り開いた杉村孝の「石庭」を撮った写真群を公開します。



会場：サールナートホール 喫茶コーナー
東静岡アート&スポーツ／ヒロバ コンテナギャラリー
日時：11/14(土)～11/29(日)
サールナートホール 会期中無休 10:00～17:00
東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 土日祝のみ 11:00～17:00
参加費：無料 共催：サールナートホール
問合せ：(公財)静岡市文化振興財団(054-255-4746)(平日8:30～17:30)

※アルコール消毒、座席間隔の確保等、新型コロナウイルス感染防止策を講じます。参加希望の方は、下記をお願いを確認の上、ご参加ください。

新型コロナウイルス
感染症拡大防止の
ためのお願い

- ・体調を確認の上、マスクを着用し、ご来場ください。
- ・こまめな手洗い、アルコールによる手指の消毒にご協力ください。
- ・下記に当てはまる場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします。
 - 体調がすぐれない場合(発熱・咳・咽頭痛・味覚障害等の症状がある方)
 - 家庭や職場、学校など身近に新型コロナウイルス感染症の感染者もしくは感染の可能性のある方がいらっしゃる方
- ・関連イベント、アーティストトークにご来場いただいた際は、お名前とご連絡先をご記入いただきます。イベント参加者の方に感染が確認された場合、いただいた情報を保健所等の公的機関に提供する場合がございます。また、いただいた情報の取り扱いには十分注意し、この目的以外には使用しません。



実施期間：10/17(土)～11/8(日)

会期中、3つの会場 すべてのシールを集めた方、
先着100名様にオリジナル「め」バッグをプレゼント!
※静岡県立美術館、静岡市美術館の会場にて引き換えができます。

